

【ビジネスセミナー】 南ア日本商工会に向けた政治経済セミナー(マダガスカル)

在マダガスカル大使館

開催日: 令和4年4月22日

場所: オンライン(在マダガスカル日本大使館)

主催: JETROヨハネスブルク事務所

参加企業: 南ア日本商工会に所属する商社、メーカー、コンサルタントなど
日系企業34社

【概要】

冒頭、JETROヨハネスブルク石原事務所長から挨拶があった後、樋口前在マダガスカル大使よりマダガスカルの政治、経済、外交、内政、新型コロナウイルス感染状況、空路の再開、経済協力、進出日本企業の状況について説明をした。

マダガスカルへの進出に関心のある南ア日本商工会に所属する日系企業34社がオンライン参加した。

質疑応答では、マダガスカルへのビジネス参入における障壁、電力供給事情、再生可能エネルギー分野に関する質問が参加者から寄せられた。

石原事務所長からは、日本企業があまり参入していない国においては、まずは貿易から始めて投資へというスタイルも考えられ、現地の財閥等、現地パートナーとの関係を作って事業参入していくのもひとつの方法と紹介があった。



経済協力(日本企業の参画)

| | |
|---|--|
| <p>【アンソビープロジェクト】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 株式会社現最大出資者となっている世界最大規模のニッケル生産事業、カナンシタ小社(2020年報道)、韓国の鉱物資源公社と国際的チームを構成、採掘から地金精錬を一国内で一貫して行う世界的にもまれなプロジェクト。2005年から生産設備のインフラ建設を開始し、2019年にニッケル生産を開始。ニッケルの年間生産は3万トンを超え、副産物としてコバルト、硫酸アンモニウムを生産。 ● コバルトは、ステンレス鋼のほか、電池材料、電子材料などに幅広く利用され、特に最近では携帯電話やEV車などの急増に伴って、世界的に需要が高まっている。生産事業者として事業参画するとともに、製品を日本・欧米・アジア向けに販売し、さらなる事業の発展を目指して競争力強化に向けた取り組みを進めている。 <p>現在稼働中の精錬プラント</p> | <p>【ODA大型インフラプロジェクト】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 円借付(アミンナ港拡張事業)(2017~2026年、452億円) 三洋建設、大井建設、サニタールコンサルタンツ ーマダガスカル最大の円借款事業で、主要港トアマシナ港の機能を3倍に向上させるプロジェクト。 ● 無償(国道2号線2機改良工事)(2019~2026年、26億円) 大宮建設、河合橋、長大 一貫輸送アミンナを結ぶ経済的に重要な国道2号線の2機改良を依頼し、交通・物流アクセスの改善を図るプロジェクト。 ● 無償(アロチャ港運送施設改良)(2018~2022年、32億円) 大宮建設、三洋コンサルタンツ 一耕作地帯であるアロチャ湖南西地域の運送施設を改善し、コメ生産量の向上を図るプロジェクト。 <p>【民間連携プロジェクト】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 陳明治 高品質カオのバリューチェーン構築のための普及・実証・ビジネス化事業 ーアンパンジャの発酵カオ互サンブルを日本で調査・分析中 ● 藤野アレナジ 道南輸送マダガス式風力発電機による発電インフラ構築基礎調査 ー北部サツナ県、ディナ県での小規模風力発電 ● 藤本ロムン フラクター駆動力で駆動する省エネルギー材料製造装置に係る案件化調査、南電化地域における固形燃料製造。 |
|---|--|